



## こども俳句「うんどうかい」

保育園の最大のイベントは、秋のドキドキ・ワクワク運動会です。一人ひとりが輝きます。悔しくて泣いたりすることもあるけれど、みんな一生懸命がんばります。

「うんどうかい ちからがいっぱい わいてきた」  
「もしかして しんかんせんより はやいぼく」  
「いっとうで ゴールしたぞ あおいそら」  
「ころんだけど おきあがって ゴールまで」

## 荒高掲示板

県立荒砥高等学校

### ◆就業体験レポート

9月17日から21日にかけて、2年生が就業体験活動を実施しました。期間中、様々な職業に分かれてそれぞれが真剣に仕事に取り組みました。

あゆみの園では、お年寄りの方々のリハビリの介助や身の回りのお世話を行いました。コミュニケーションをとりながらお年寄りに親身に寄り添っている姿がとても印象に残りました。利用者の方々も高校生にお世話してもらい喜んでくれるようでした。実習生は介護という職業の大変さを身を持って実感していました。



▲あゆみの園にてリハビリの介助



▲パレス松風での部屋の清掃

パレス松風では、お風呂掃除や部屋掃除を行いました。真剣なまなざしで部屋の隅々まで丁寧に掃除していました。広い館内で黙々と作業をする仕事ぶりに感心しました。

3日間という短い間でしたが、働くことの大変さや喜びを学ぶことができました。今回の経験で身に付けた責任感や社会に出て働くことの意義を今後の生活に生かしていきたいと思えます。

お忙しい中で実習生にご指導くださった町内事業所の皆様、ありがとうございました。

(記) 荒砥高校2年  
丸山ひとみ・佐藤大志

## 町報川柳 「記念」

母の実家	記念の木いっぱい	これは何	長井市
記念碑の隅に一輪	彼岸花		安部ありな
古希祝い	記念のマフラー	首に巻き	安部 健一
記念木	長寿あやかり	虫が喰う	池田 武子
「記念樹」	息子結婚	願い込め	石川與次衛門
末っ子孫	成人記念	ハイポーズ	五十公野かをる
幾つかの	夏の記念日	頭垂れ	五十公野春己
記念品	よりも嬉しい	金一封	糸 マサ
嫁ぐ時	記念となった	名セリフ	植木 英夫
孫植えた	記念樹今は	天とどく	梅津美千子
結婚のだよ	記念日そろそろ	六十回	海老名さち
平和だよ	記念する日が	見つからず	遠藤 八重
着物着て	汗と二十歳の	記念写真	大滝健次郎
記念日に	平和の鐘が	鳴り響く	奥山 節子
共白髪	夫婦で迎える	記念の日	片山 時美
記念日を	自分のために	作る日々	小関 弘
花束を	誕生記念	プレゼント	神保 玲子
記念日が	多くて財布	膨らまず	鈴木 トミ
初孫生まれ	記念に残し	うれしくて	鈴木美貴子
記念日に	ひと手間かけて	ぜん囲む	平 恒人
記念樹の	葉ずれさやかな	ロマン聞く	高橋 朝子
夫婦茶碗	何度買ひ替えても	記念	高橋 とみ
家も無く	語る人無く	記念の碑	白兔
誕生日	曾孫と唄う	何度目か	土谷 灯一
結婚の	記念日毎に	妻強く	土屋 敏子
亡き祖母と	まつりに写し	記念かな	土屋 敏子
記念樹も	孫も成人	域を盛る	土屋 敏子
多すぎて	覚えきれない	記念の日	土屋 敏子
一生は	出合いと別れの	記念の日	土屋 敏子
孫達の	記念樹眺め	願い請う	土屋 敏子
寫真撮り	記念に残る	アルバムに	土屋 敏子
欠席を	減らす工夫の	記念品	土屋 敏子
義務教育	卒業写真	胸に抱く	土屋 敏子
染井吉野	見上げ見ている	記念樹です	土屋 敏子

次回「光」十月二十五日まで。 「自分」十一月二十五日まで。  
白鷹町大字荒砥甲八三三番地 白鷹町役場総務課企画室情報係 宛